

学校評議員会が開かれました

令和6年10月30日、学校評議員会が本校で開かれました。これは、地域住民の方の学校運営への参画の仕組みを制度化した学校評議員制度に基づいて、平成12年の学校教育法施行規則改正以来、毎年行っているものです。

本校では、学校評議員として5名の方に委嘱しています。本校の学校教育について随時お一人お一人にご意見を伺うとともに、全員の方にお集まりいただき学校を抱える諸課題について意見交換を行い、学校運営を行う上での参考とさせていただきます。

今年度の学校評議員会では、毎年実施している「学校評価アンケート（生徒向け及び保護者向け）」の結果に基づいて、本校生徒の現状や本校の教育に対する保護者の方々の受け止め方を分析し報告しました。

続いて、学校の現状と課題として、今年度から本格的に始まった校舎の改修工事について説明するとともに、「制服と私服の併用」「生徒・学校の現況」「総合的な探究の時間の取り組み」等について報告しました。

意見交換の中では、「私服併用による学校生活への影響はどのようなものがあるのか」という点や、「昨今、PTAの在り方にも変化が表れているが、菊里高校ではどのような動きがあるか」といった点について触れられ、現代の学校や高校生を取り巻く環境に高い関心を持って、お尋ねとご助言をいただきました。長年本校に関わっていただいている評議員の皆様は、とりわけ校舎の改修後にどのようなリニューアルがなされるかにも興味を持っておられ、本校の未来にも期待を持っていただいております。

昨年度より再開したPTA主催による海外研修にも高い関心を持っていただきました。研修の成果を報告すると共に、海外での研修によって得られる経験について前向きな共感とアドバイスをいただきました。新たな世界を見られることに加え、「うまくいかなかった経験により、その後の努力も飛躍的に変化がある」と、今後も継続的に取り組んでほしいと後押しをいただきました。昨年度も高い評価をいただいた「総合的な探究の時間」での活動についても、高い関心を持っていただきました。

本校としましては、様々な活動を通して、高い品性と自主自律の精神を兼ね備え、元気で自己実現ができる生徒が育てられるよう、今後も検討を重ねていきたいと考えております。学校評議員の皆様からの貴重なご意見やご指摘をもとに、今後の学校運営のさらなる改善を図ってまいります。